

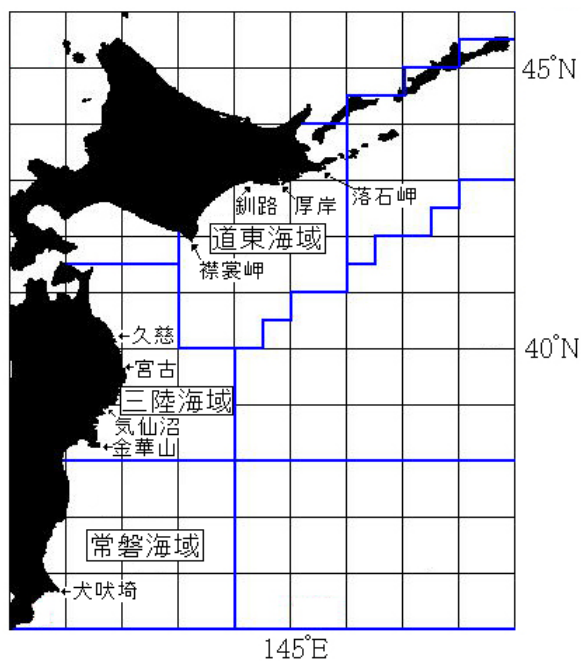
平成25年度 第1回 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し一般社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 －

今後の見通し(2013年9月中旬～10月下旬)のポイント

来遊量

- ・道東海域では、9月中旬は断続的な来遊となる。来遊量は増加し、9月下旬は低位水準であるが、10月上旬は中位水準となる。
- ・三陸海域では、10月上旬になると、断続的ではあるが来遊がある。



海域の名称

問い合わせ先

一般社団法人漁業情報サービスセンター 事業二課
担当：渡邊、松尾
電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881
当資料のホームページ掲載先URL
<http://www.jafic.or.jp/gyokaikyo/>

独立行政法人水産総合研究センター
当資料のホームページ掲載先URL
<http://abchan.job.affrc.go.jp/>

平成25年度 第1回 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

1. 今後の見通し

予測期間：2013年9月中旬から10月下旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

1) 道東海域

(1) 来遊量

9月中旬は、道東海域より北東側の海域において来遊量が増加し、道東海域では断続的な来遊となる。道東海域は、9月下旬は低位水準であるが来遊量は増加し、10月上旬～10月中旬は中位水準となる。10月下旬から減少を始める。

(2) 漁場

9月中旬～下旬は、道東海域より北東側の色丹島南～択捉島南沖が主漁場である。道東海域では、9月中旬に散発的ではあるが落石南～南東沖に漁場が形成され、9月下旬には落石南東沖～厚岸南沖で漁場が持続する。10月上旬には襟裳岬沖にも漁場が形成される。10月下旬は、落石沖の漁場が消滅し、漁場は厚岸～襟裳岬沖となる。

2) 三陸海域

(1) 来遊量

10月上旬は、断続的ではあるが来遊がある。来遊量は徐々に増加し、10月中旬は低位水準、10月下旬は中位水準となる。

(2) 漁場

10月上旬には、三陸北部に一時的に漁場が形成される可能性がある。10月中旬は三陸北部に漁場が形成され、10月下旬は三陸南部まで漁場が広がる。

2. 予測の概要

海 域		9月中旬	9月下旬	10月上旬	10月中旬	10月下旬
道東海域	来遊量	→	→	→	→	→
	動向	断続的	低位増加	中位増加	中位水準	中位減少
	漁 場	落石沖	落石～厚岸沖	落石～襟裳岬沖	落石～襟裳岬沖	厚岸～襟裳岬沖
三陸海域	来遊量			→	→	→
	動向			断続的	低位増加	中位増加
	漁 場			北部	北部	北部～南部

3. 漁況の経過概要（8月下旬）

1) 道東海域

(1) 来遊量

資源量指数から判断した道東海域における来遊量の水準は、前年同様、低位水準であった。道東海域よりも北東側の花咲港東北東～東沖における来遊量の水準は、前年を下回り、漁場の範囲は前年よりも広がった。日別CPUE（1網当たりの漁獲量）から判断すると、来遊量は徐々に増加した。

(2) 漁場

花咲港東沖が主漁場であり、道東海域では漁場はできなかった。なお道東海域よりも北東側の、花咲港東北東～東沖（14～17℃）で、多くの船が操業。漁場は徐々に花咲港に近づいてきたが、前年よりも漁場は東側であり、港から遠かった。

(3) 魚体

道東海域よりも北東側の、花咲港東北東～東沖では、中型魚主体の群と大型魚主体の群があった。中型魚主体の群は漁場の西側に多く、中型以下の魚が5～7割程度混ざっている場合が多かった。大型魚主体の群は漁場の東側に多く、体長31～32cmモードであった。大型魚の体重は、160～180g台主体であった。

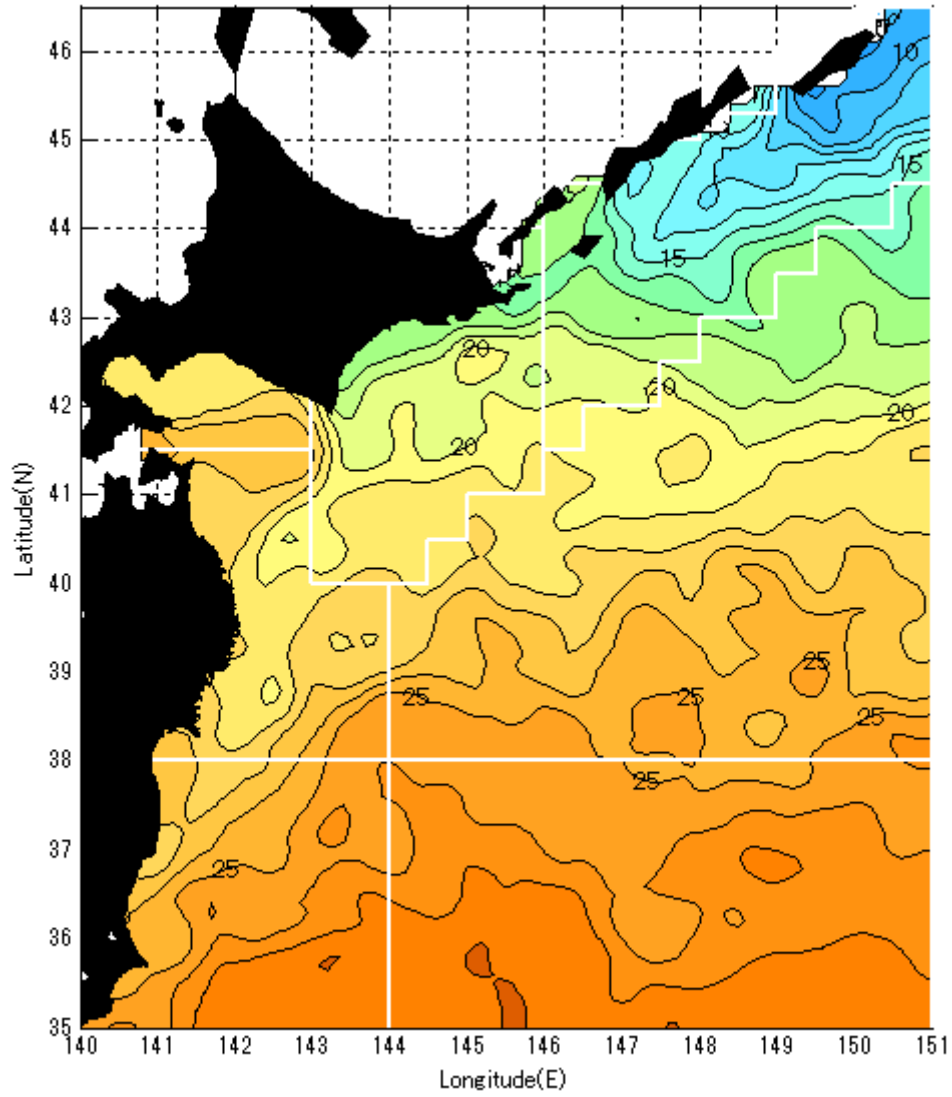
※常磐海域の予報については、第3回（9月30日発表予定）から行う。

※サンマ中短期予報の作成方法について

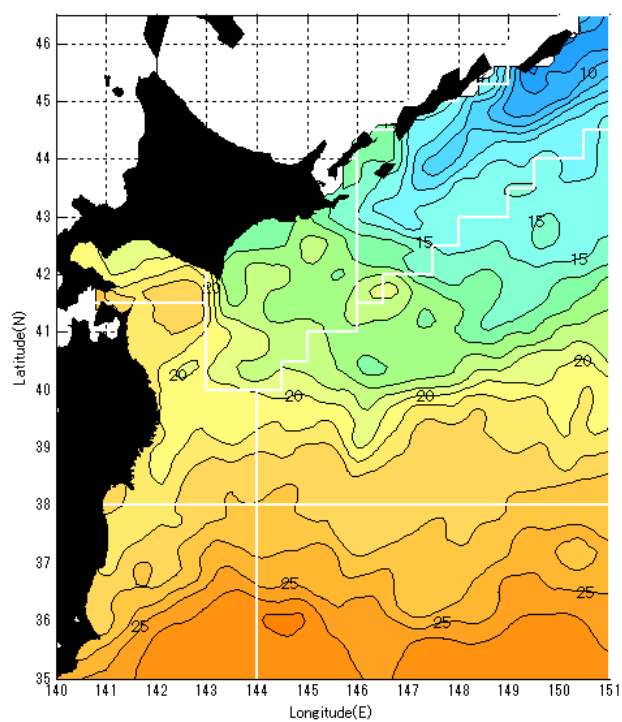
サンマ中短期予報は、数量化Ⅰ類を使用した予測モデルの結果を利用している。この予測モデルは、「予測を行う直前のサンマの来遊状況（今回の場合、8月下旬の海区別資源量指数）」と「予測海域の予測対象旬における表面水温の占有率（予測水温分布図から計算）」をパラメータとして使用している。予測水温分布図は、漁業情報サービスセンターが作成した海況図を用い、統計モデルを使用して予測した結果である。

4. 予測水温分布図

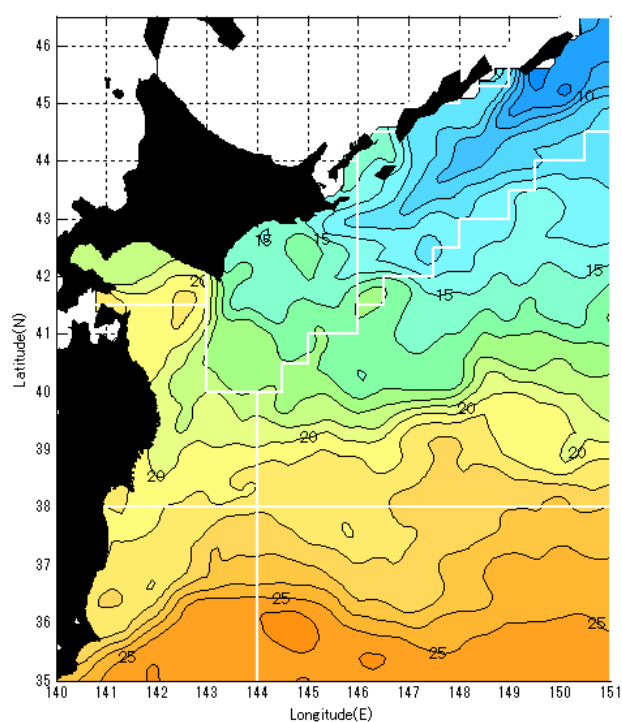
9月中旬予測表面水温分布図



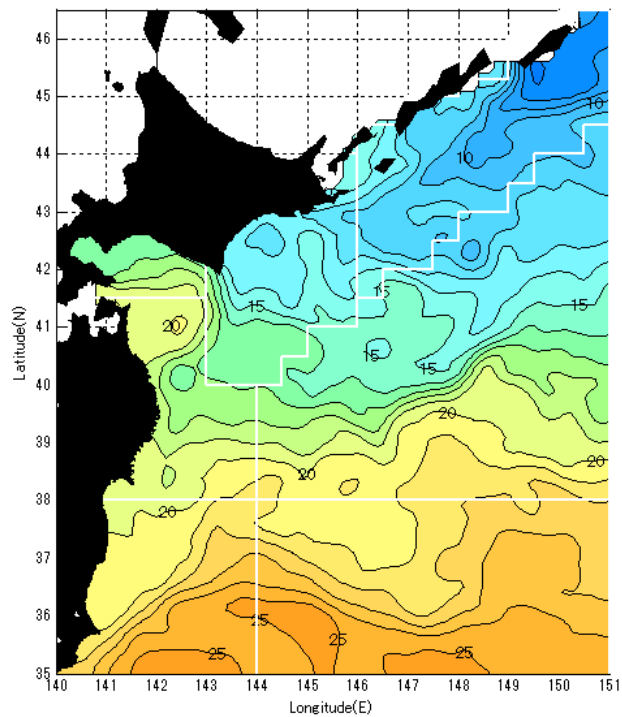
9月下旬予測表面水温分布図



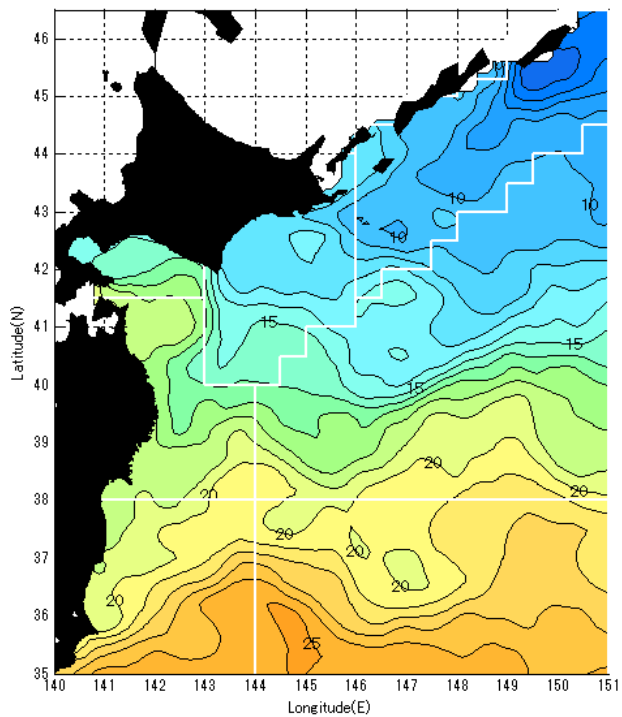
10月上旬予測表面水温分布図



10月中旬予測表面水温分布図



10月下旬予測表面水温分布図



参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産試験場</p>	<p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>独立行政法人 水産総合研究センター 東北区水産研究所</p> <p>(取りまとめ機関)</p> <p>一般社団法人 漁業情報サービスセンター</p>
---	--